



国民の森林・国有林

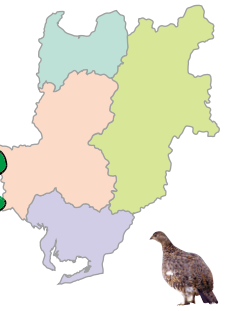
林野庁
中部森林管理局

〒380-8575長野市大字栗田715-5
☎050-3160-6513

<http://rinya.maff.go.jp/chubu/>

広報

中部の森林



メールマガジン登録で本誌記事や観光情報のデジタル版を毎月お送りします。
登録サイト：<https://mailmag.maff.go.jp/m/entry>

平成30年7月豪雨災害特集号



豪雨災害により村道が崩落したため、国有林林道を迂回路として整備しました。
この写真は、迂回路で一時帰宅者を先導する森林官車両です。

(「6月の見どころ聴きどころ」の投稿写真の表紙掲載は見合わせ)

主な項目	○【緊急特集】平成三十年七月豪雨への中部森林管理局の対応……………	P 2
	○各地からのたより……………	P 6
	○シリーズ「森林官からの便り」……………	P12
	○シリーズ「ご当地自慢」……………	P13
	○8月の見どころ聴きどころ……………	P14

【緊急特集】

平成三十年七月豪雨への
中部森林管理局の対応

六月二十八日以降、梅雨前線が日本付近に停滞し、また同二十九日に発生した台風第七号が北上し、これらの影響により西日本を中心に全国的に広い範囲で記録的な大雨となり、平成に入ってから
の豪雨災害としては最悪となる甚大な被害が発生しているところ
です。

台風や大雨によりお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された
全ての方々にお見舞い申し上げます。

中部森林管理局の管内においても、岐阜県、長野県を中心に、各地で記録的な豪雨となるなか、私
達は、住民の皆さんの安全確保を第一として、関係県、市町村等と
連携し、対応を行っています。

以下、主な対応状況です。

【七月二日（月）】

下呂市ほかでヘリ調査を実施

六月二十八日未明、岐阜県から長野県にかけて降った激しい雨により、岐阜県下呂市や長野県木曾郡において土砂崩れが発生したことから、上空からヘリコプターによる調査を実施しました。

調査は、下呂市と合同で実施し、同市の国有林、民有林のほか、長野県王滝村、同塩尻市の国有林の状況把握を行いました。

この結果、上空から見た限りでは既存の崩壊地の拡大や、新たな崩壊地が確認されたので、今後は



ヘリに乗込む職員

地上より現地踏査を実施すること
としました。



御嶽、濁河温泉上流部の様子

【七月七日（土）】

中部森林管理局緊急自然災害対策
本部を設置

岐阜県に大雨特別警報が発表されるなど豪雨が続くなか、中部森林管理局管内において土砂災害の危険が高まっている状況を踏まえ、中部森林管理局緊急自然災害
対策本部を設置しました。

これ以降、対策本部において、林野本庁、関係森林管理署等のほか関係機関と連携し情報収集等を行



岐阜署の林道流出箇所を調査確認



長野県王滝村の崩落した村道をドローンで撮影

行いながら、必要な災害対応を行ってまいります。



点検により発見された路肩を簡易保護

また、各森林管理署等においても、関係自治体と連携し、状況に応じて対策本部を設置するなどし、職員による被災状況の把握のため現地調査等を行っているところです。

【七月九日（月）】

国有林防災ボランティア協定に基づき被害点検を要請

中部森林管理局と、長野林業土木協会及び名古屋林業土木協会との間では、「国有林防災ボランティア協定」を締結しており、この協定に基づき、両協会に対し、林地荒廃や治山・林道施設の点検

を要請しました。

通行止め村道の代替路線としての林道の通行確保に向けた調査を実施

長野県王滝村滝越地区に通じる村道が崩落し通行できなくなっていることから、木曾森林管理署管理の国有林林道を迂回路として活用するため、木曾森林管理署と王滝村職員により、ドローンによる調査を実施しました。

【七月十日（火）】

関係団体に復旧作業の協力を要請
長野国有林森林整備協会、名古屋造林素材生産事業協会に対して復旧作業の協力を要請しました。

【七月十一日（水）】

関係県・市町村と合同でヘリ調査を実施

岐阜県及び長野県の広範な地域において山地崩落や林地崩壊、治山施設及び林道施設の被害が見込まれるため、その被害状況を確認するため、岐阜県においては、郡上市、関市と、長野県においては、県と合同で、上空からヘリコプ

ターによる調査を実施しました。

【七月十二日（木）】

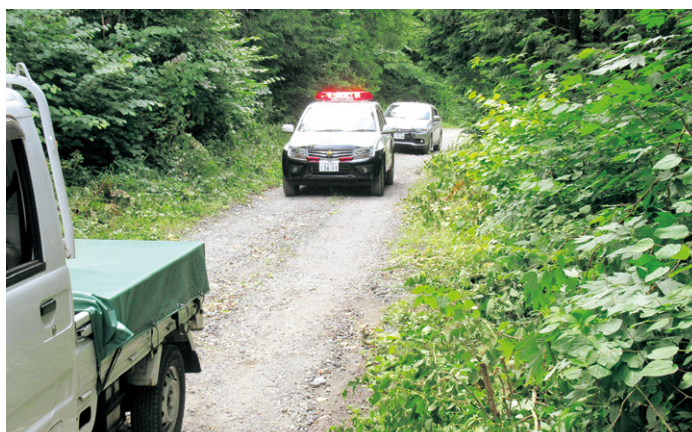
長野県王滝村で崩落により通行止めとなっていた村道の代替として林道の通行を確保

長野県王滝村の通行止め村道の迂回路としての活用要請があった国有林林道について、木曾署において十二日までに崩土除去、不陸整正、砂利敷きを実施し、通行を確保しました。



代替路確保のため崩土除去（請負者：みどり産業株式会社）

これを受けて、王滝村により、国有林林道を利用した避難住民の



一時帰宅の安全のためパトカーも同行

一時帰宅が行われました。住民の一時帰宅にあたっては、木曾署の車両が安全を確認しながら、住民の皆さんが乗った車両を先導しました（表紙写真）。

十一日実施のヘリ調査の結果概要を公表

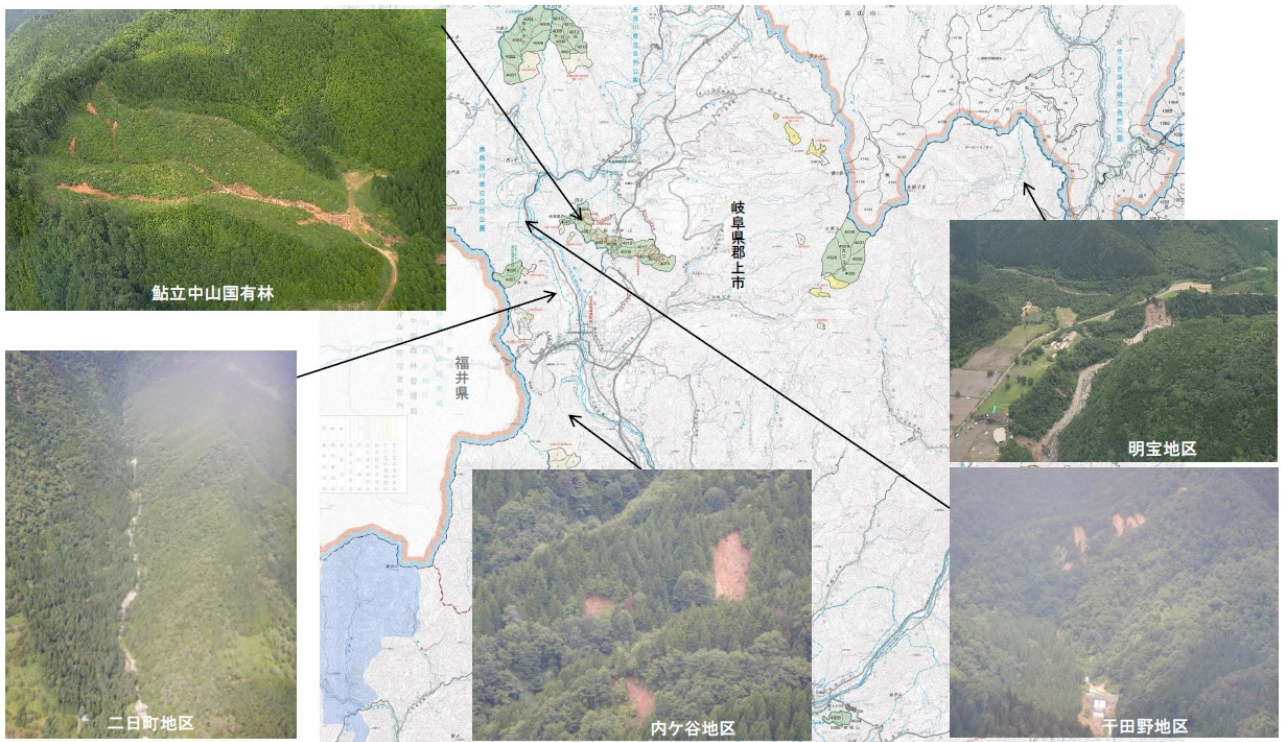
十一日、岐阜県関係市及び長野県と合同で行ったヘリコプターによる調査の概要を取りまとめ、公表しました。

調査結果は、次の資料のとおりです。

林野庁中部森林管理局、郡上市、関市合同ヘリ調査結果(H30.7.11)
【岐阜県郡上市】

林野庁中部森林管理局
岐阜森林管理署

(調査結果) ヘリコプターからの調査では、二日町、内ヶ谷、干田野及び明宝地区、鮎立中山国有林において数ヶ所の山腹崩壊地が確認された。



林野庁中部森林管理局、郡上市、関市合同ヘリ調査結果(H30.7.11)
【岐阜県揖斐川町】

林野庁中部森林管理局
岐阜森林管理署

(調査結果) ヘリコプターからの調査では、川上国有林において山腹崩壊地が確認された。



林野庁中部森林管理局、郡上市、関市合同ヘリ調査結果(H30.7.11) 【岐阜県関市・板取川民有林直轄治山事業地】

林野庁中部森林管理局
岐阜森林管理署

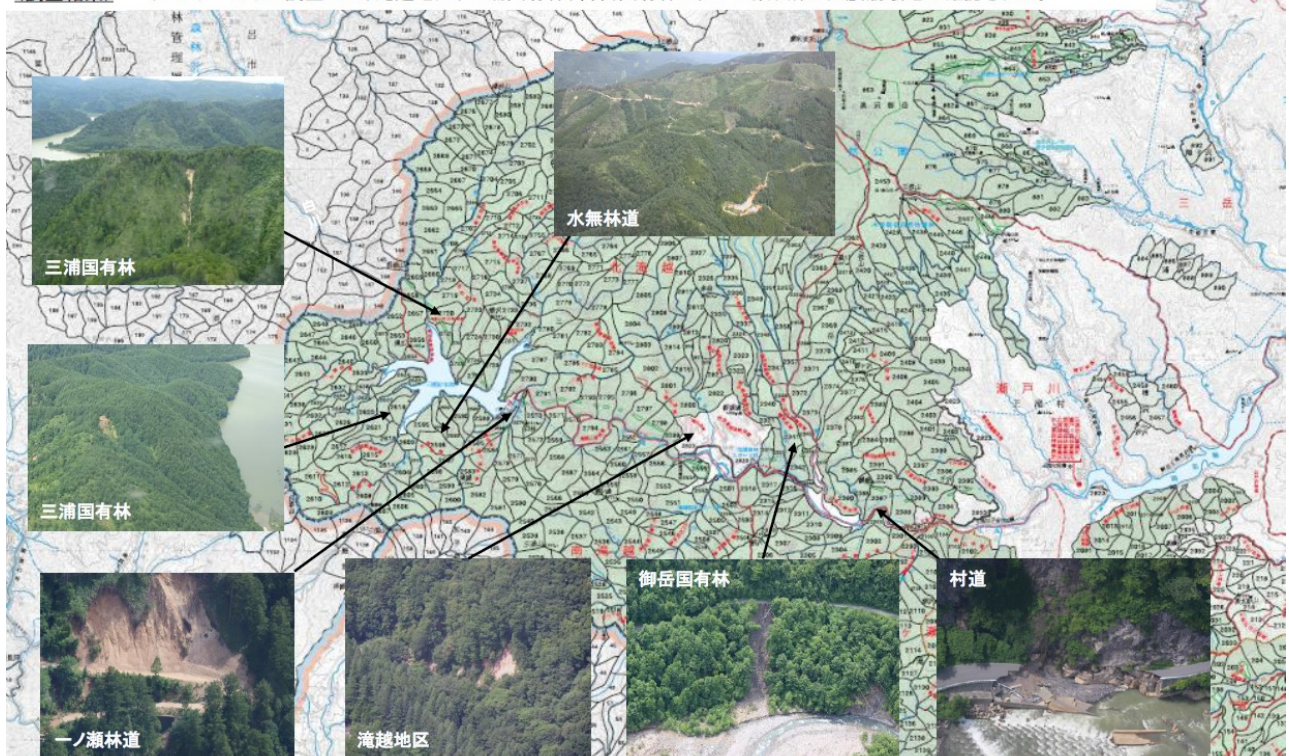
(調査結果) ヘリコプターからの調査では、板取地区において山腹崩壊地が確認された。



林野庁中部森林管理局・長野県合同ヘリ調査結果(H30.7.11) 【長野県 王滝村】

林野庁中部森林管理局
木曾森林管理署

(調査結果) ヘリコプターからの調査では、滝越地区、三浦国有林、御岳国有林において数ヶ所の山腹崩壊地が確認された。



中部森林管理局では、引き続き被災状況の把握と、災害復旧にしっかりと取組でまいります。

(緊急特集はここまで)

平成三十年度 優良職員等表彰 農林水産大臣賞を伝達

〔総務課〕 七月三日、中部森林管理局大会議室において、平成三十年度優良職員等表彰農林水産大臣賞の伝達式を行いました。

この賞は、農林水産行政に顕著



農林水産大臣よりの表彰状



代表して伝達表彰を受ける3名

な業績を挙げた職員を表彰し、職員士の士気の高揚を図ること等を目的に実施されているもので、本年度、林野庁関係では、平成二十九年九州北部豪雨災害の対応に当たった、九州森林管理局及び全国の森林管理局から参集した職員が表彰されました。

昨年七月に発生した九州北部豪雨災害においては、福岡県朝倉市を中心にも多数の山腹崩壊等が発生したこと、これらの箇所を緊急的な復旧整備を行うため、九州局、林野庁のほか、全国の森林管理局の技術者による「山地災害対

策緊急展開チーム」が派遣されました。

中部局からは、治山班として局治山課（現岐阜署）の小瀬弘一さん、局治山課の川本淳さん、木曾署の岡庭敏夫さん、林道班として局森林整備課（現東信署）の澤口薫夫さん、局森林整備課の村田則幸さん、岐阜署（現森林整備課）の田丸清彦さんの六名が派遣され、被災状況の現地調査の実施、災害復旧のための概算設計に必要な基礎資料作成などを行い、復旧工事等の早期実施に大きな役割を



平成29年派遣先での現地調査の様子

果たしました。

伝達式では、中部局六名の受賞者を代表して現在本局に勤務している三名に対し、宮澤局長から表彰状を伝達し、会場内の職員から大きな拍手が送られました。

中部森林管理局では、今後も、災害発生時には関係機関と連携した迅速な対応により、被災地の早期復旧に向けた支援を行ってまいります。

各地からのたより

大きく育つての祈りを込めて

合同植樹祭を開催

〔南木曾支署〕 五月二十六日、長野県木曾郡大桑村のぞきど森林公園近くの村有林において、長野県木曾地域振興局、大桑村、木曾郡緑化推進委員会、木曾山林協会、木曾広域連合、当支署の六者主催による木曾郡植樹祭と、大桑村と南木曾支署で毎年開催している植樹祭との合同植樹祭が開催され、長野県内や木曾川の下流域となる



植えたミズナラの苗木に大きく育つての祈りを込めての水やり

愛知県北名古屋市などから合わせて約六百名の参加がありました。式典では、みどりの少年団による「みどりの宣言」や、アトラクションとして大桑小学校五年生によるヒノキ間伐材を有効利用し自作した「木製ココリナ」による演奏、北名古屋市の西春少年少女合唱団による合唱が披露され、和やかな雰囲気の中に終了しました。

式典の後は、夏のような日差しの下、植樹と除伐に分かれて作業



自分好みの鉛筆作製に奮闘

を行い、植樹チームはコナラ、ミズナラ、カシワ、トチノキ等約二百五十本を植樹し、除伐チームは繁茂していた雑木をノコギリやナタを使って倒しました。

午後は、参加した小学生対象の森林教室で、小枝を使った鉛筆作りを行いました。葉っぱの付いたもの、二股のものなど様々な形の枝を使って個性に富んだ鉛筆が作製され、児童からは「もっとたく

さん作りたい」という声も聞かれるなど大変好評でした。

湿原の植物を守れ！

イノシシ対策で官民連携

「富山署」六月十日、水無国有林において、NPO法人利賀自然文化飛翔の会の会員ほかと、富山森



ワイヤーメッシュを設置（ドローンにて撮影）

林管理署との合同でイノシシ対策用のワイヤーメッシュ（金属網）の設置を行いました。

当該地は、ブナを主体とする広葉樹林に囲まれた湿原が広がり、ミズバショウ、リュウキンカ等の湿性植物群落や希少種のヤシヤビシヤク、ヨウラクツツジが自生し、白木水無県立自然公園第一種特別保護地域の指定を受けています。

かねてよりイノシシによる植物根の食害跡が確認され、くくり罠を設置して、有害鳥獣捕獲に取り組んできていますが、被害状況の確認により湿原の荒廃が懸念されてきました。

そこで、平成二十八年十一月に富山大学、富山県、南砺市、NPOと協議を重ねるなかでワイヤーメッシュを設置することを決め、昨年からの設置し経過を観察しています。

今回、新たに約五〇平方メートルのワイヤーメッシュの設置を行いました。今後も継続して湿原植物の保護と保存を図っていくことにしています。

今後の林業を考るうえで

有意義な体験になればと

校外研修を開催

〔木曽署〕 六月二十五日、長野県木曽郡木曽町の黒石国有林で長野県林業大学の二年生に向けた校外研修を行いました。

最初に、林業大学の教室で国有林の森林計画や熊被害について説明を行った後、黒石国有林に移



熊による剥皮被害の現場を確認



習ったドローンを使って記念写真

動し林業専用道の開設工事やドローンによる林分確認、熊被害箇所を視察し、剥皮被害防止対策の作業を体験してもらいました。

教室では静かに説明を聞いていた学生さんたちも、現場に出て視察や作業を始めると次々に質問が飛びだしました。

低コストで効率的な森林管理・

林業経営に興味があるようで、林業専用道の適切な設計やドローンの活用法について質問がありました。特にドローンについては、現在どのようなことに使っているの

か、これからどのように活用してどのような作業が省力化できるかなど活発に質問が上がりました。また、熊被害の視察では、全面に被害を受けたヒノキ林分と剥皮被害防止対策によって被害を免れた林分を比較し見てもらい、被害の大きさと対策の必要性を実感してもらいました。防止対策の作業では、複数の防除資材を用いて行い、各資材の長所短所についても学んでもらいました。

研修全体を通して、和気あいあいとした雰囲気の中でも活発な議論が展開され、当署としても、普段は見られない現場で実際に国有林の取組を見て、体験してもらう良い機会となったと考えています。

間伐を初体験

森林体験学習を実施

〔東信署〕 七月四日、北佐久郡御代田町の御代田南小学校五年生の児童百六名を対象に、小諸市にある天狗温泉浅間山荘の広場、浅間山国有林をフィールドに「森林体



鋸を使って間伐体験

験学習」を実施しました。

当体験学習作業の班と森林散策の班を交互に入れ替える形で行いました。

間伐体験では、間伐の必要性等を説明した後、実際に鋸を使って間伐をしてもらいました。ほとんどの児童が間伐初体験であったことから、木が倒れたときの迫力にびっくりしていました。間伐後は、事前に用意していたシラカバ



鉛筆の形を作製中

を使ったクラフト作りを体験してもらい、鉛筆の形にしてみたり、コースターにするなどオリジナルのクラフト作製を楽しんでいました。

森林散策では、職員から木の名前やその特徴、森林の働きなどの説明を聞きながら、途中、名前のわかった木に樹名板をつけるなどしました。

児童からは「木が倒れるときの音にびっくりした」、「間伐をなぜするのかがあった」、「木の名前

を少しだけだけど覚えることができた」、「普段、山に行かないけどまた行ってみたくなった」などの声が聞かれました。

御代田南小学校とは毎年森林体験学習を実施しており、当署スタッフも楽しみにしているイベントです。今後も、より児童の皆さんの希望に応えられるような学習会にしていきます。

生産性向上プロジェクト始動 P会議を開催！

【愛知所】 七月四日に生産性向上プロジェクトP会議を開催しました。

この会議は、平成二十七年度から始まった「生産性向上実現プログラム」に基づくもので、生産事業者及び民有林関係者の方々と連携して更なる生産性向上に向けた取組を今年度もスタートしました。

*P会議とは…PDCA（PLAN、DO、CHECK、ACT、ION）サイクルのなかの事業実行前の会議。



参加者全員で線形を検討

今年度の生産性向上プロジェクトからは、林業事業体へ広く水平展開することを目的として、近隣地域の林業事業体にも呼びかけを行いました。会議には総勢四十五名（内訳…愛知県、名古屋大学、設楽町、国土防災技術(株)名古屋支店、新城森林組合、設楽森林組合、丸兼林業(有)、(株)緑豊、東三河

流域新城地区森林整備推進協定者、設楽地区森林整備推進協定者、関東森林管理局天竜森林管理署、中部森林管理局、愛知森林管理事務所）の民有林・国有林関係者が参加しました。当日は台風等の影響で現地での検討会を急遽変更し、愛知森林管理事務所会議室での開催となりました。



新城森林組合から実際の線形説明

冒頭、愛知森林管理事務所長による挨拶、平成三十年度生産性向上実現プログラム概要説明の後、国土防災技術(株)名古屋支店によるUAVに関する平成二十九年度の成果報告及び今年度の取組紹介の報告等をいただきました。

その後、参加者全員による森林作業道路網線形の検討を行い、参加者から作業システムと線形決定の説明を行った後、実行事業体である新城森林組合から事業計画に基づき路網線形の説明が行われました。

意見交換のなかでは「生産性と森林作業道運搬距離との相関関係について」、「今回の列状間伐の伐列は」、「定性間伐と列状間伐毎の生産性目標数値はあるのか」など、効率的な作業システム構築等に向け参考となる意見が多く出されました。

今回の会議を踏まえ、作業日報やドローン等を活用した実行状況の把握とボトルネックの解消、間伐実行の検討など、PDCA起動により、より良い作業システムを構築し、得られたノウハウを少し

でも多く民有林へ水平展開したいと考えています。

**歴史ある看板に新たな役割
話のきっかけにもなっています**

「木曾署」かつての王滝営林署は、昭和二十二年の林政統一時に王滝出張所から営林署に改称され、平成十一年三月一日に木曾森林管理署王滝事務所となるまで、五十三年にわたり、その名称が使われていました。

旧王滝営林署は、木曾郡王滝村に所在し、管轄する国有林は村の面積の約九〇％を占めます。

かつては職員数約四百五十名の職員が勤務しており、過去には長野県西部地震後の大規模な治山事業や当時の旧長野営林局内で最大となる二五、〇〇〇立方メートルの木材生産事業を実行しており、地域の雇用や経済にも貢献するなど、地域と深い関わりを持っていました。

この王滝村王滝営林署で長く掲げられていた看板は、平成十一年に名称が変わり下ろされることと



平成十一年名称変更時の職員記念写真

なりました。

看板は天然のヒノキの単板で作製されており、下ろされてから最近まで倉庫で保管されていましたが、歴史あるこの立派な看板を何かに利用できないかと検討し、このたび、来客時や打合せ時に使用



作製されたテーブル

できる打合せテーブルを作製しました。

歴史ある看板を用いたテーブルを囲んでの打合せでは、看板の存在に驚く人や、営林署の名称を懐かしみ昔話に花を咲かせる人も。いろいろな話のきっかけになり、話も和やかに進むのかもしれない。

イノシシの現状を知って

対策シンポジウムを開催

「岐阜署」七月七日、^{まち}街のイノ

シシを知る「金華山イノシシ対策シンポジウム」が岐阜大学講堂にて約八十名が参加し開催されました。

このシンポジウムは、岐阜市、岐阜大学、岐阜県、地元自治会、ボランティア団体、岐阜森林管理署等が構成員となり平成二十七年十月二十九日に設立された「岐阜市金華山一帯のイノシシ被害対策協議会」が主催し、約三年間の活動内容と地域住民へ金華山のイノシシの現状について知ってもらうことを目的に開催されました。



岐阜署から猟友会への委託捕獲により捕獲されたイノシシ(金華山)

本来であれば最初に、基調講演として、イノシシ被害対策の第一人者である、兵庫県森林動物研究センターの横山真弓教授より「六甲山の事情を踏まえた街のイノシシと人との関わり方について」の講演をいただく予定が、関西地方を襲った豪雨災害によりキャンセルとなってしまいました。



土田総活森林整備官より岐阜署の取組報告

基調講演はなくなりましたが、岐阜大学野生動物管理理学研究センターの池田敬特任助教から「金華山一帯のイノシシ生息調査結果について」と題し、二年間のセンサーカメラデータ等を分析した金華山一帯のイノシシ生息調査結果が報告されました。生息分布を正確に把握するためにカメラ設置場所を均等に配置したことにより、金華山一帯での平均生息密度が五十九頭であるとわかったことや、市街地近辺の利用は一日中少なく耕作地周辺は夜間に集中的に出没していることなど、興味深い報告がありました。

つづいて、活動紹介として、岐阜森林管理署と岐阜市農林部から報告があり、当署からは土田総活森林整備官が、地域連携推進等対策として、地域と連携し協議会を立ち上げるまでの経緯や頂上付近で実施している地元猟友会による委託捕獲、民有地境での緩衝帯整備について報告を行いました。

最後に、岐阜大学の鈴木教授をコーディネーターに、事前に募集した質問等に対し各機関の代表者

による質疑応答が行われ、イノシシ、シカに対する忌避剤の効果についてや、道路からの侵入を防ぐ方法についてなど熱心な質問が出されました。

終了に際し、協議会会長の岐阜大学鈴木教授から、イノシシへの餌付けの禁止など、人的被害を防止するため、近隣住民や観光客に対して、今後も協議会を通じ啓発活動を推進していきたいと抱負を述べられていました。



質疑応答に答える各機関の代表者



北信署 黒姫森林事務所

森林官 西方雄一郎

黒姫森林事務所は、長野県上水内郡信濃町にあり、主に信濃町及び飯綱町に所在する国有林、約六、八〇〇haを管理しています。

管轄する国有林の殆どが、黒姫山及び飯縄山のゆるやかな裾野に広がり、その約五割が人工林となっています。樹種は、カラマツ、スギが大部分を占めており、そこから生み出される水は、地元の上水道や農業用水に利用され、国有林は地域の重要な水源林となっています。



斑尾から野尻湖、黒姫山を望む



「多様な森林づくり」実施箇所

また、「黒姫高原スノーパーク」や「いろいろなリゾートスキー場」の二つのスキー場に加え、北信五岳の裾野を利用した森林セラピー基地「癒やしの森」など、国有林を利用した施設が多くあります。

黒姫森林事務所管内では、様々な事業を実行しています。

なかでも、高性能林業機械を使用した木材生産を活発に行っています。林地傾斜が緩いこともあって、森林作業道等の路網を活用した効率的な木材搬出を行っており、年間一〇、〇〇〇立方メートルを出材しています。

こうした事業箇所では、皆伐と地拵、植付を一貫で行う「伐採・

造林一貫作業」、地拵を車両系重機で行う「車両系機械地拵」、林道関係では、木材搬出に必要な路盤強化のための

「付属路整備」など、林業の低コスト化に向け、研究機関等と連携し様々な取組を実施するとともに、皆伐跡地においては、有用広葉樹を保残・育成する「多様な森林づくり」施業も展開しています。

来年度は、千曲川下流森林計画区第六次国有林野施業実施計画等の樹立年であり、今年度は、当該計画樹立に係る調査の年となることから、森林の公益的機能の高度な発揮と、森林資源の安定供給・有効利用を考慮し、しっかりと現地を踏査するとともに、現



「車両系機械地拵」実施箇所（ドローンにより撮影）



ドローンを操作中

地踏査が困難な箇所については、ドローンを活用しつつ、計画的・効率的に調査を進めていきたいと考えています。

現在、黒姫森林事務所では、森林官、行政専門員、非常勤職員の内総勢五名が一人となって境界巡検や収獲調査、分収育林の明認作業、貸付等、日々の業務に汗を流していますが、特に、地元関係や境界事案、過去の経緯等については、地元出身者である行政専門員等の皆さんから適切なアドバイスをもらい、とても助かっています。

今年度も黒姫森林事務所のチームワークにより、無事故、無災害で円滑な業務を進めていきたいと思っております。

皆さん、是非一度、黒姫森林事務所管内へお越しください。



黒姫森林事務所職員（前列左端が筆者）

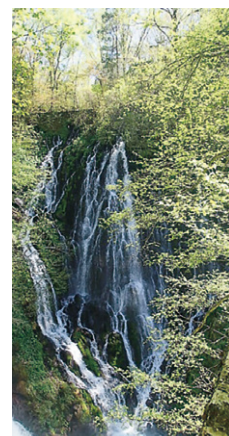


この森は、北アルプス乗鞍岳の北西山麓、中部山岳国立公園南端の標高約一、三〇〇〜一、六〇〇の民有地と国有地をあわせた約三、〇〇〇畝の森林地帯に広がっており、これまで、ほとんど人の手が入っていない山地冷温帯及び亜高山帯の自然景観が広がる貴重な場所です。

平成十三年度から調査を行い、できるだけ環境にダメージを与えないよう歩道や施設を整備して、平成二十年にオープンしました。平成二十二年には「岐阜の宝もの」に認定されています。

日本で初めてとなる認定ガイドが同行して入山する完全予約制による案内を行っています。

ブナ、ミズナラ、サワグルミなどの広葉樹や、シラビソ、オオシ



布引滝



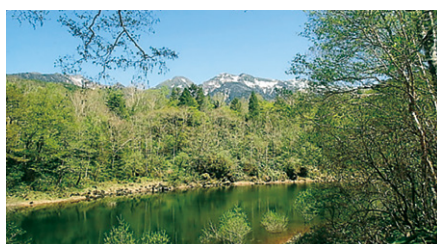
カモシカコースの下から見た青垂滝

ラビソ、コメツガなどの針葉樹を主体に、可憐な花を咲かせる希少な植物も多数確認されています。また、数多くの野生動物も棲んでおり、足跡や鳴き声などを通じて訪問者を楽しませてくれます。

豊かな森を縫うように流れる溪流には豊富な水があふれ、切り立った溶岩台地を滑り落ちる滝が

あります。深い森の奥には静寂の中に青空を映し出す池が輝き、日々刻々と表情を変える木々の葉は秘境と呼ぶにふさわしいこの森をさらに魅力あるものへと演出してくれます。

この秘境には遊歩道を散策する二つのコースがあります。滝と溪流を巡るカモシカコースと苔むした溪流と点在する池を巡るシラビソコース、動と静の対照的なそれぞれのコースは、この森の自然や地形を熟知した認定ガイドが同行し、自然の生いたちや成り立ち、葉っぱの一枚から虫の一匹まで詳しく、そして楽しく案内してもらえます。



シラビソコースから見た乗鞍岳



シラビソコースの雄池

今年三月には、保護林制度の見直しに伴い、自然環境の保護や遊歩道等の管理・整備活動、自然散策ツアーの開催等、森林保全活動を引き続き円滑に行うため、高山市と飛騨森林管理署で新たに「多様な活動の森における保護、管理、利用に関する協定」を締結し、高山市のシンボルでもある貴重な自然の保全と利用の両立を図ることとしています。

今年、この協定に基づき、新たな三つ目のコースが今年完成する予定です。まるでジブリ映画にできそうな景色が目前に広がるこの森を散策してみたいかがでしょうか。

◆お問い合わせは、五色ヶ原の森案内センターへ

☎0577-179-2280



東海北陸自動車道 高山ICから国道一五八号線を松本方面へ四十分



上旬

①南アルプス林道バス運行中

(南信署 伊那市)

南アルプス林道バスに乗って涼しい風の中南アルプスの大パノラマを楽しみませんか。伊那市長谷戸台口から北沢峠までの21kmを約1時間掛け



南アルプス林道バスから望む山々

てゆっくり走ります。運転手さんの楽しいガイドの中に国有林の紹介も出てきます。

②1日 諏訪大社下社 お舟祭 (下社例大祭)

(南信署 下諏訪町)

2月1日に春宮にお遷しした、御霊代を神幸行列を以て再び秋宮へ御遷座する遷座祭に続き、下社例大祭が秋宮で執行されます。この遷座の行列に次いで青柴

で作った大きな舟に翁・媼の人形を乗せた柴舟が春宮から秋宮へ曳行されます。

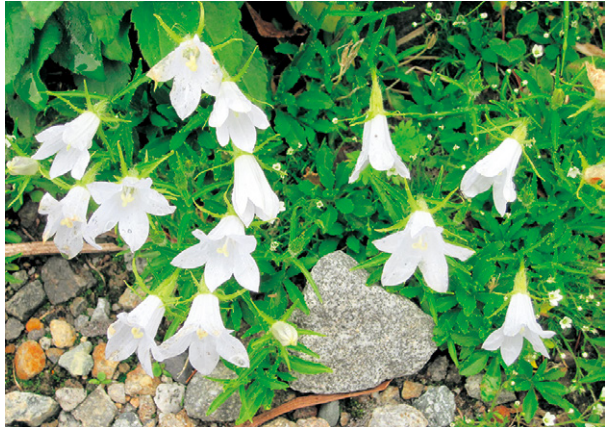


氏子引き手数数百人、舟の長さ10m、重さ5t

③1～11日 乗鞍岳自然観察教室

(飛騨署 高山市)

自然観察指導員等が付き添い、畳平周辺を散策しながら高山植物の観察会が開催されます。(開催日8月1日、2日、11日)



白いイワギキョウ

④3日 夏休み特別講座「もっと知ろう！中央アルプスの昆虫・蝶・鳥」

(南信署 駒ヶ根市)

地元の学芸員さんの案内により、中央アルプス千畳敷カール周辺で学習しながら探索します。(有料)



夏の千畳敷カール

⑤3～31日 星空観察会イン乗鞍夫婦松

(飛騨署 高山市)

乗鞍夫婦松駐車場標高約2000m地点で星空観察会が専門ガイドによる特別解説付きで開催されます。

満天の星空は手の届きそうなくらいです。(開催日3日、17日、18日、31日)

⑥4日 北竜湖 花火大会

(北信署 飯山市)

内山国有林を背景に、北竜湖の湖上に打ち上げられる花火は、色合い・音とも格別で、迫力満点です。

⑦4日 とやまの山岳環境整備ボランティア

(富山署 立山町)

国民の祝日「山の日」が制定されたことに関連し、立山の山岳環境の保全と適正な利用を県民協働で推進することを目的に、木道のスリップ事故防止対策や外来植物除去活動を行う「とやま山岳環境ボランティア」活動が立山町芦峠寺(天狗平)弥陀ヶ原)地内で行われます。

⑧4～26日 歩こう！信越トレイル

(北信署 飯山市)

全線を6つのセクション(区間)に分け、少しずつ歩ける現地集合・解散の日帰りトレッキングツアー。四季折々の自然、歴史、文化につき楽しいガイド付き。

⑨8日 乗鞍本宮例祭(飛騨署 高山市)

畳平の乗鞍本宮中宮において、獅子舞の奉納と安全祈願祭が行われます。

⑩8日 早月国有林治山事業地視察

(富山署 上市町)

上市町馬場島周辺の早月国有林において、国の治山事業を行っています。治山事業により下流域住民の暮らしが守られていることについて、町民の皆様を理解を深めていただくことを目的とし、現地視察が行われます。視察後には、馬場島周辺での森林セラピー体験も併せて行われます。

【中旬】

⑪11日「国民の祝日 山の日イベント」
中央アルプス松尾岳縦走ツアー
(南信署 駒ヶ根市)

駒ヶ岳ロープウェイを片道利用して松尾岳を縦走する7時間コース、体力に自身があられる方を対象としています。(有料)

⑫11日「山の日」四方山祭りin上高地
(中信署 松本市)

平成26年に「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する「山の日」」が制定され、平成28年にその記念第一回全国大会が上高地で開催されました。今年も上高地で四方山祭りが開催されます。クイズラリーや音楽祭、ブース展示も行われます。

⑬11日 なかつがわ「山の日(サンデー)」イベント
(東濃署 中津川市)

8月11日は「山の日」は、「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する日」です。東濃森林管理署では、地元の山で育った木を使い、楽しい体験イベントを開催します。

夏休みのひとときを家族や友達と過ごしませんか？

時間*午前10時～

午後2時

場所*東濃森林管理署を予定



昨年のイベントの様子

【下旬】

⑮23日 熱田白鳥で木工体験
(名古屋事務所 名古屋市)

親子で木工体験を楽しみながら、郷土

⑭14日 木曾義仲旗揚げまつり
(木曾署 木曾町)

木曾の名を日本全国に知らしめた武将、朝日將軍木曾義仲公を弔う祭り、木曾義仲旗揚げ祭り(らっぽしよ・花火大会) 伝統行事の「らっぽしよ」のほか、武者行列や巴太鼓などがお祭りを盛り上げます。山吹山に松明で描く「木」の火文字も見ものです。

開催場所・木曾町日義 義仲ふるさと広場(時間 13時～21時30分)



林業機械への機上体験

の歴史や森林について学んでみませんか。

⑯26日 第21回全日本マウンテンサイクリングin乗鞍 (中信署 松本市)

空に一番近い乗鞍エコーラインを会場として、全長20.5日km、標高差1260m、平均勾配6.1%、ゴール地点の標高は2720mの、自転車レースでは国内最高所を走る大会が開催されます。



乗鞍エコーライン

⑰26日 湯の丸高原の森を見に行こう！
(東信署 東御市)

美しい湯の丸高原の自然を守るため日々どんなことをしているの？、伐採現場ってどんな様子？、湯の丸高原にできた高知トレーニング施設や、高山植物の花咲く池の平湿原はどこ？、そんな「？」を知るために、湯の丸高原の森を見に行こう！

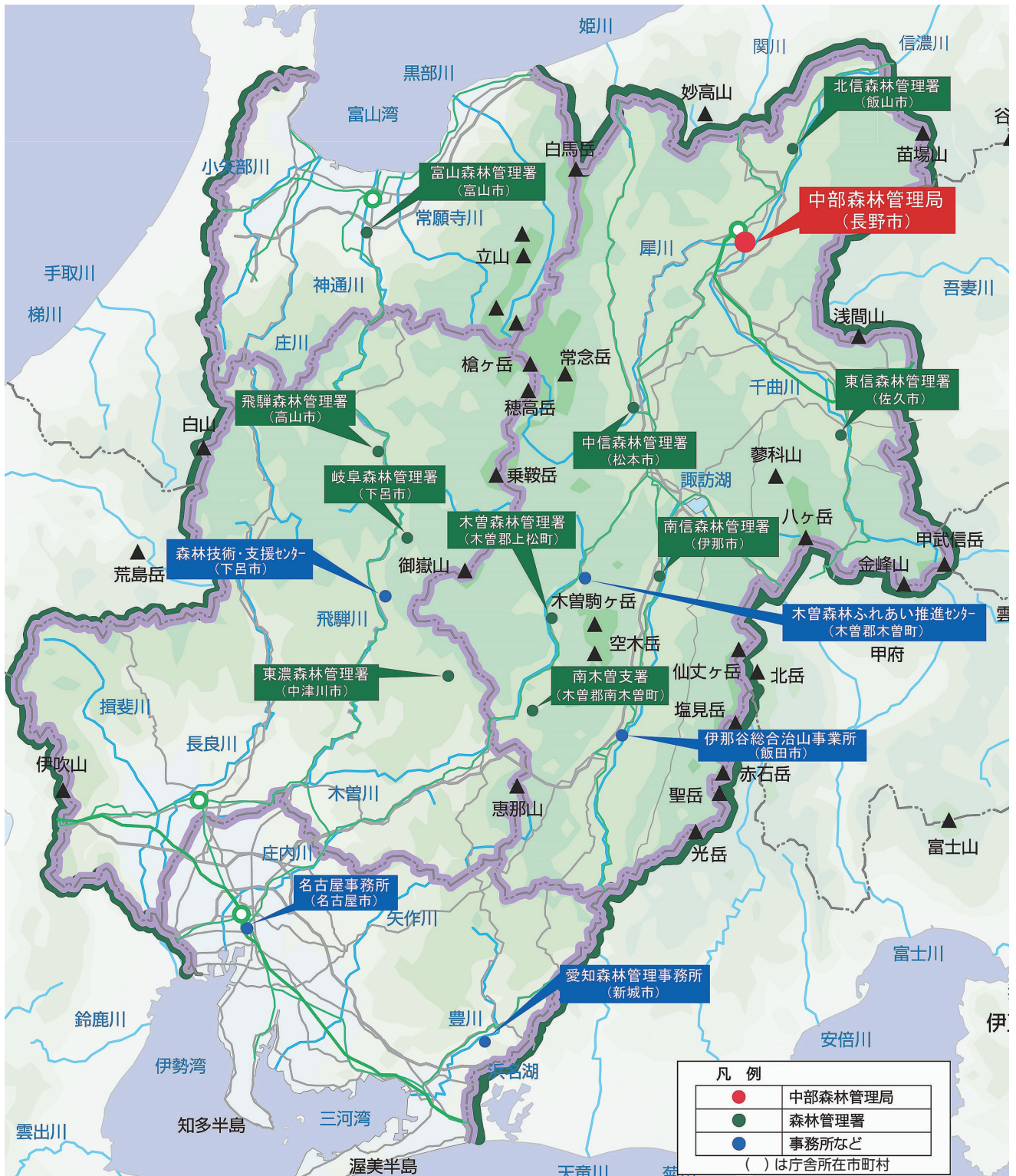
【編集長だより】 あなたの写真を！お待ちしております

☆夏の盛りとなりました。各地で清涼な高原を舞台にしたイベントや夏祭りが行われます。

☆夏休みの予定を立てられている方も多いことと思います。中部の国有林では、様々な楽しみが待っていますよ。ステキな写真が撮れましたらmigoro@maff.go.jpまで電子メールでお送りください。(1メール容量2MB以内)

☆特にステキな写真は、広報誌「中部の森林」の表紙に掲載し紹介させていただきます。あなたの写真が来月号の表紙を飾るかもしれません。投稿をお待ちしております。

ご投稿には、氏名又はニックネーム、整理番号(8月なら①～⑰のいずれか)、撮影日を記入してお送りください。感想やコメントを添えて頂いても構いません。



お問い合わせ先 中部森林管理局 〒380-8575 長野県長野市大字栗田715-5 TEL 050-3160-6507 FAX 026-236-2657

名古屋事務所	〒456-8620	愛知県名古屋市中熱田区熱田西町1-20	TEL 050-3160-6660	FAX 052-683-9269
富山森林管理署	〒939-8214	富山県富山市黒崎字塚田割591-2	TEL 050-3160-6080	FAX 076-424-4934
北信森林管理署	〒389-2253	長野県飯山市大字飯山1090-1	TEL 050-3160-6045	FAX 0269-62-4144
中信森林管理署	〒390-0852	長野県松本市島立1256-1	TEL 050-3160-6050	FAX 0263-47-4754
東信森林管理署	〒384-0301	長野県佐久市白田1822	TEL 050-3160-6055	FAX 0267-82-6959
南信森林管理署	〒396-0023	長野県伊那市山寺1499-1	TEL 050-3160-6060	FAX 0265-72-7774
木曽森林管理署	〒399-5604	長野県木曽郡上松町正島町1-4-1	TEL 050-3160-6065	FAX 0264-52-2582
※南木曽支署	〒399-5302	長野県木曽郡南木曽町吾妻3859-39	TEL 050-3160-6070	FAX 0264-57-2686
飛騨森林管理署	〒506-0031	岐阜県高山市西之一色町3丁目747-3	TEL 050-3160-6085	FAX 0577-34-8932
岐阜森林管理署	〒509-3106	岐阜県下呂市小坂町大島1643-2	TEL 050-3160-6090	FAX 0576-62-2503
東濃森林管理署	〒508-0351	岐阜県中津川市付知町8577-4	TEL 050-3160-5675	FAX 0573-82-2109
愛知森林管理事務所	〒441-1331	愛知県新城市庭野字東萩野49-2	TEL 0536-22-1101	FAX 0536-23-2254
森林技術・支援センター	〒509-2202	岐阜県下呂市森876-1	TEL 050-3160-6095	FAX 0576-25-2420
木曽森林ふれあい推進センター	〒397-0001	長野県木曽郡木曽町福島1250-7	TEL 0264-22-2122	FAX 0264-21-3151
伊那谷総合治山事業所	〒395-0001	長野県飯田市座光寺5152-1	TEL 050-3610-6075	FAX 0265-22-0149

※南木曽支署は平成31年1月（予定）まで庁舎工事のため上記に移転中です。